

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17 時



くどう ゆあ さん 11 歳 (小学 5 年生)

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味が湧いたらご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明 (30 字程度) ③掲載するお名前 ④学年 (年齢) ⑤保護者の方の連絡先 (氏名・メールアドレスまたは電話番号) を明記のうえ、メールまたは FAX にてお送りください。

<編集委員募集のお知らせ>

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力をして発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

3 月 10 日便の予定			3 月 25 日便の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	3 月 8 日 (水)	午後	封入作業	3 月 23 日 (木)	午後	
発送作業	3 月 9 日 (木)	午前	発送作業	3 月 24 日 (金)	午前	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722 (渡邊)

交流会＆インタビュー①（RSY ふくしま復興体感ツアー）

福島復興体感ツアー

まもなく震災から6年。借り上げ住宅の支援が3月に打ち切られることもあり、避難先に留まるか福島に戻るか悩む日々をお過ごしかと思います。昨年12月3日（土）、4日（日）、愛知県、岐阜県、三重県にお住いの福島県から避難されている方々を対象に、「ふくしまの「今」を体感いただくツアー」が実施されました。福島県の復興の現状確認や、既に帰還されている方および福島県内の支援団体との交流会もありました。参加者や支援団体の方の率直な感想や今、思うこと、支援団体の活動内容をいただきましたのでご紹介いたします。



<ツアーで使用したバス>



<食事会の様子>

Mさん 40代男性 避難元：いわき市

9歳、6歳、3歳の子どもがいる父親。仕事を辞めたばかりで時間もあり、いわきに住む両親と今後について話し合い方向性を決めるいい機会と思い参加した。父は一緒に仕事をしようと言うが、母は子どもが小さいうちは親子で住んだ方がよいと言う。3歳の子が成人するまで愛知で育てることに、いわきに残っている両親の理解を得た。その後、就職を求め岡崎で仕事が決まった。帰還者交流会では、他の参加者がどう考えているのか知ることができて良かった。交通費補助は本当に助かった。また機会があれば、ぜひ参加したい。今、家族で住む家を岡崎で探している。震災後に会った人が人を紹介してくれるなど、助けてくれている。本当にありがたいと思っている。

Iさん 70代女性 避難元：富岡町

感謝しなければならないけれど、復興の状況を見に行っただのに津波の被害のあった地域を見に行くわけでもなく、ただ観光をしに行ったような印象だった。だからといってダメではなかった。楽しかったし、良かった。また行きたいと思う。震災後、息子家族がいる愛知に来て一人暮らしをしている。女性だから順応しやすい。いい経験だった。震災から間もなく6年が経つから、子どもなら6歳児。やってもらうのが当たり前ではなく、大人になって前を向いて歩いて欲しい。交流会で甘えている避難者の様子を見ると、同じ県民として恥ずかしく思うことがある。支援していただいたことに感謝しましょう。

交流会＆インタビュー②（RSY ふくしま復興体感ツアー）



＜RSY スタッフ富田（右）＞



＜RSY スタッフ秀島（中央）＞

Wさん 50代男性 避難元：いわき市

家族5人で避難し、愛知で仕事も見つかり定住している。長男、次女は就職し家を離れ、今は妻と長女と3人で生活を送っている。いわきには家も不動産もあり、管理のため頻繁に戻り、草刈りをし、本家でもあるため親戚の付き合いや義理ごとをしている。住まいの補助が打ち切られることで、他の人の意見を聞ければと思い参加した。この先、妻の親の介護も予想されるため、いつまで愛知に住むか考えなければならない。帰還者交流会では、帰る人の意見もうかがうことができ良かった。避難者のつながりがもてる機会があって良かった。この先も迷っていくと思うが、交流会にぜひ参加したいと思う。交通費補助もよかった。8時間かけて車で移動しているから。交流会は、毎月あってもいいかな。

Mさん 60代女性 避難元：須賀川市

娘がいる愛知に避難した。須賀川に戻りたいと思い家を探していたら、家を貸してくださる方がいて、今回その家を見に行ったら。須賀川の大家さんが待ってくださると言うので、すぐに引っ越さず、愛知県の県営住宅を再契約した。福島復興体感ツアーに参加し、愛知県内ではバラバラだけれど、同じ県民で話すことができ、同じ時を過ごすことができて良かった。心あたたかく、心強く思いましたね。帰れない事情の方はかわいそうで寂しいと思う。心の奥底の郷愁は消せないでしょう。今回のツアーも含め、本当に感謝しています。愛知には、よくしてもらいました。

Kさん 40代女性 避難元：いわき市

子ども3人と実家のある愛知に避難。現在、夫は一人でいわきの家に住み、長男・次男は進学し下宿、三男と自分は愛知に住む。月に1度いわきに戻り、義両親や夫と過ごす時間を大切にしている。今回のツアーでは、他の参加者がどんな目的で参加するのか興味があり交流会のみ参加。一人一人の状況がすべて異なり、どれも間違いではないと実感。帰還者のお話も支援団体のお話も、どれもあり得るとわかり、今の自分の生き方を認めることができた。愛知でうかがう福島県職員のお話も、いわきでうかがう支援団体職員のお話も肯定できる。お互いがお互いを認め合うことができたなら、もっと気楽に生活できるのではと考え、今後も愛知でおしゃべりできる場を設けたいと思った。交通費補助は本当にありがたい。今後もこの事業が継続されることを切に願っている。NPO法人レスキューストックヤード・ふくしま支援室の秀島さん、富田さん、森本さんに心より感謝しています。ありがとう。

交流会＆インタビュー③（RSY ふくしま復興体感ツアー）

認定 NPO 法人レスキューストックヤード（RSY）主催で行われたこのツアーの初日には『帰還者交流会』という、帰還されている方や福島県内の支援団体、参加者同士での情報交換の場が設けられました。そこで協力していただいた団体「未来会議」の霜村さんに、団体の活動についてと交流会当日の感想を書いていただきました。



＜『未来会議』の霜村さん（左）＞

福島県いわき市を中心に「対話の場づくり」に取り組む『未来会議』の発起人・副事務局長の霜村です。普段は菩提院という寺の副住職を勤めています。2012 年春まで妻と子どもたちが自主避難していました。

未来会議は 2012 年秋に発足しました。震災と原発事故発生から 1 年半が経った頃、いわき市地域では、さまざまな問題が噴出していました。いわき市民と双葉郡から避難した住民との軋轢、コミュニティーの分断や差別、津波被災者と原発被災者との差、放射能に対する不安の差、自主避難の可否、復興や風評、収束作業に関わる方々との差など、これらについて発言すること自体がタブーに感じられるような時期でした。

このように複雑化した地域では、一人ひとりが異なるということを前提に、その違いの背景に耳を傾けあいながら、多様な人々が一緒になって考える「場」が必要と考え、活動を始めました。

「議論」は相手を自分の考えに引き寄せ、結論を出して話を終わらせるためにする行



＜交流会の様子＞

動なのに対し、「対話」は違いの背景をお互いに交換し、それぞれがより良い答えを見つけるため、話を続けるためにする行動です。そのために必要なエチケットが二つあります。「相手を否定しない」（自分と違ってても反論をすぐせず耳を傾ける）と、「断定をしない」（…かもしれない）と留保して、訪れるかもしれない自分の変化を待つ）です。

2013 年 1 月からこれまでに、誰でも参加可能な 100 名前後の大きな場を 12 回開催。分科会や勉強会、関連イベントは 100 回を超えます。ここで発言したことで、後に外部から責められることがないような配慮も続けてきました。

今回の交流会では、避難が続けられている皆さんと自分との同じところ・違うところを知る機会となりました。また避難されている方同士の差も同様にさまざまでした。

「それぞれ」が違ったまま、変化を歓迎し、心地よく過ごすためには何が必要かということ意識して、今後もこのような場を持つことができれば幸いです。

（未来会議・副事務局長 霜村真康）



お出かけ情報

～商店街 第5弾～

街歩き編



歴史深い商店街には昔ながらの温かみあるお店がたくさん集まっています。愛知県内には歴史ある商店街がたくさんあり、さまざまな取組みで人を集めています。街の喧騒から抜け出して、古き良き町を歩いてみませんか。



PICK UP

円頓寺商店街

場 所： 名古屋市西区那古野 1-6-10

アクセス： 地下鉄桜通線「国際センター駅」徒歩 5 分

連絡先： 円頓寺商店街振興組合（はきものの野田仙内）

052-551-0197



円頓寺（えんどうじ）商店街・四間道（しけみち）エリアは、名古屋で最も古い商店街で老舗も多く、また新しい店舗も増えています。七夕まつりや秋の祭りなど、一年を通してイベントも多く開催されています。

空き店舗が「カブキカフェ・ナゴヤ座」やギャラリーなど、新しい娯楽や出会いのスペースとしてオープンしています。



<愛知県内の商店街>

No	商店街名	沿革	取組み
①	桜山商店街 (昭和区)(地下鉄「桜山駅」すぐ)	戦後から商店街として形成され、昭和 35 年に組合を結成した歴史ある商店街です。平成 16 年度に近接する大学と連携し商店街活性化の取組みをスタートしました。	「さくらっぴー」…商店街のシンボルマークとして誕生しました。シンボルマークを活用し、各店の商品やサービス向上をめざして、優良店舗認証事業を行っています。また、アーケードや街路灯に「さくらっぴー」をデザインするとともに、学生の協力により「さくらっぴー」を主人公にした絵本づくり等にも取り組んでいます。
②	瑞穂通商店街 (瑞穂区)(地下鉄「桜山駅」4・5 番出口すぐ)	平成 18 年度に名古屋市商店街振興組合連合会から「地域貢献賞」の大賞を受賞し、平成 19 年度には、愛知県の「ブランド商店街」に認定されました。	名古屋グランパスとの提携…「名古屋グランパスサポートタウン」として活動中。グランパスが試合に勝った日の翌日に「グランパス勝ったね」と店頭で告げるとサービスを受けられる「グランパス勝ち店」が当商店街内に 27 店あります。
③	銀座通り商店街 (瀬戸市)(名鉄「尾張瀬戸駅」徒歩 5 分)	明治 20 年頃に誕生した非常に歴史の古い商店街です。大正から昭和初期に建てられた風情のある建物と、曲がりくねったアーケードが特徴です。	銀座倶楽部…商店街マップ「銀座倶楽部」には、商店の紹介だけでなく、商店街の歴史や年中行事、おすすめの食べ歩きグルメ等、商店街への興味を引くたくさんの情報が詰まっています。マップは商店街以外に近隣の公共施設でも配布中です。

●詳しい情報は各施設のホームページ等をお調べください。上記の情報は愛知県が発行した「あいちの商店街」という冊子をもとに作成しました。詳しい情報は右の QR コードからご確認いただけます。

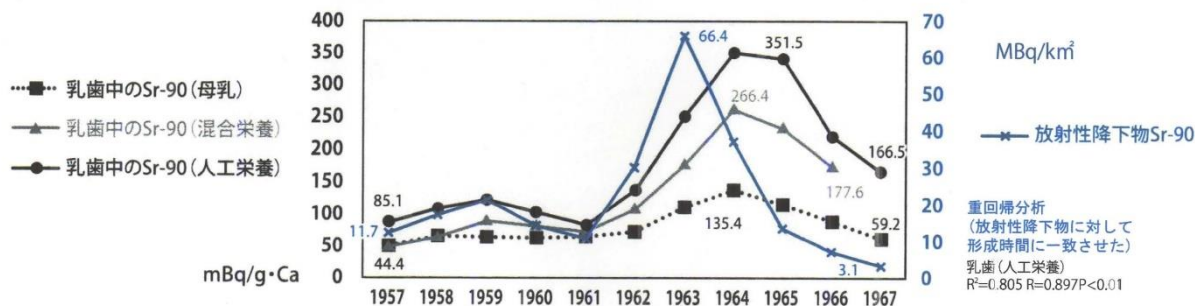


支援団体紹介①（乳歯保存ネットワーク）

乳歯を保存し、ストロンチウム-90 を測定し、未来世代の健康を守りましょう

日本における放射性降下物⁹⁰Sr量と日本人乳歯の⁹⁰Sr量（1957－1967年）

第19回放射能調査研究抄録集（文部科学省）10（環境放射能データベース25）を改編



出典：
「第22回日本臨床環境医学会学術集会特集」(Vol. 22 No. 2 2013)
福島第一原発事故により放出された放射性核種（ストロンチウム、プルトニウム）のヒト乳歯への蓄積に関する研究
井上一彦¹⁾ 山口一郎²⁾ 1) 鶴見大学歯学部探索歯学講座 2) 国立保健医療科学院 生活環境研究部

図1 核実験時のSr-90降下量と乳歯中のSr-90

なぜ乳歯を保存し、ストロンチウム-90を調べるのでしょうか

2011年3月11日の東電福島第一原発大惨事から間もなく6年。事故現場からは今も大量の人工核物質が放出され、自然・生活環境を汚染しつづけています。

それら人工核物質のひとつに、ストロンチウム-90があります。ストロンチウム-90は、体内でカルシウムとよく似た動きをします。呼吸や飲食によって身体に取り込まれると、骨や歯に蓄積され、何十年もの長い間、出ていきません。その結果、白血病や免疫不全を引き起こし、さまざまな病気の原因となります。すでに半世紀以上前、アメリカのお母さんや研究者は、乳歯の中のストロンチウム-90の増加につれて、子どものがんや白血病が増えていることを明らかにし、大気圏内核実験を止めさせました。

ストロンチウム-90は、大気圏内核実験が盛んに行われた1950年代から、日本各地で、どれだけ降り注いだかが測定されました。同時に乳歯中のストロンチウム-90も調べられ、乳児の栄養の違い（母乳、人工、混合）によって、乳歯のストロ

ンチウム-90の蓄積量に差があることも明らかにされました（図1）。

ヨーロッパ諸国でも、同様の研究結果が得られました。

スイス・バーゼル州立研究所は、1950年に乳歯に含まれるストロンチウム-90の測定を始め、すでに66年間、途切れることなく乳歯の検査を続けてきました。そのほか、粉ミルクをはじめ各種食べ物に含まれるストロンチウム-90を調べ、そのデータが集積されています。これだけ長期間ストロンチウム-90の測定を継続してきたのは、私の知る限り、スイスだけです（図2）。

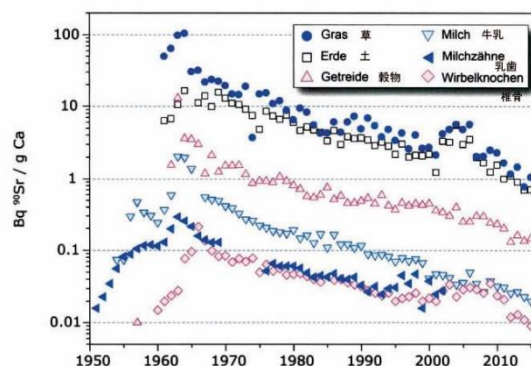


Figure 5:
⁹⁰Sr in verschiedenen, zwischen 1950 und 2015 entnommenen Proben (logarithmische Skala).

図2 スイスでは1950年代からストロンチウム-90 (Sr-90) が継続的に測定されてきた。草、土、穀物、牛乳、乳歯、椎骨中のSr-90測定値の推移

出典：Umweltradioaktivität und Strahlendosen in der Schweiz 2015

支援団体紹介②（乳歯保存ネットワーク）

No	ゾーン名	土壌汚染密度, kBq/m ² (Ci/km ²)			年間被曝量 ミリシーベルト/年
		セシウム137	ストロンチウム90	プルトニウム	
1	避難（特別規制）ゾーン	n.d.	n.d.	n.d.	n.d.
2	移住義務ゾーン	555 以上 (15 以上)	111 以上 (3 以上)	3.7 以上 (0.1 以上)	5 以上
3	移住権利ゾーン	185~555 (5~15)	5.55~111 (0.15~3)	0.37~3.7 (0.01~0.1)	1 以上
4	放射能管理強化ゾーン	37~185 (1~5)	0.74~5.55 (0.02~0.15)	0.185~0.37 (0.005~0.01)	0.5 以上

(注) 避難ゾーン：1986年に住民が避難した地域。n.d.：定義なし。

図3 法に基づく放射能汚染ゾーンの定義

人間だけが例外ではありません

3.11東電福島原発大惨事後、東北大学の研究者は、ウシ・ブタ・野生ネズミ・サルを調べ、とくに若い動物の歯にストロンチウム-90が顕著に蓄積していることを明らかにしました。その値は高濃度汚染地ほど高くなっています。似たことがヒトにも起こっているのではないかと私たちは大変心配しています。

ところが、乳歯ストロンチウム-90の測定を、3.11原発大惨事以降、日本政府も福島県「県民健康調査」検討委員会も行っていない。

放射線の健康影響を解明するには、3.11原発大惨事が自然・生活環境にまき散らした全ての人工核物質をていねいに調べる必要があります。中でも健康影響の大きいストロンチウム-90の検査は欠かせません。乳歯は、胎児や子どもの内部被ばくを知るうえで、重要な根拠となる試料です。乳歯の測定によって、ストロンチウム-90がどのくらい体内に取りこまれているかがわかるからです。

私たちは、自らの測定データをもとに話し合い、子どもたちのいのちと健康を守り、病気の予防に役立てたいと考えています。

チェルノブイリの経験から学ぶ

1991年「チェルノブイリ法」が、ウクライナ・ベラルーシとロシアでそれぞれ法制化されました。年1ミリシーベルトを超える追加被曝を余儀なくされる地域を被災地として、移住の義務・権利などを定めました。この実効線量は、各核種による土壌汚染の密度をもとに定められています(図3)。

平常時公衆の被曝限度を『年1ミリシーベルト』と定めたICRP(国際放射線防護委員会)1990年勧告を基にしています。図4では「幼児食品」を別項として成人から区別し、その許容濃度が厳しく定められていることにご注目ください。図3・図4は、次の本から引用しました。今中哲二編「チェルノブイリ事故による放射能災害—国際共同研究報告書—」(1998年)P.48&54, 技術と人間。

国連人権理事会特別報告者アナンド・グローバーさんも、「チェルノブイリ法」を引用し「一般市民の放射線被ばく限度は年間1mSvである」「意思決定プロセスに、住民、とくに社会的弱者が効果的に参加できることを確実にするよう、日本政府に要請する」と述べています。(ヒューマンライツ・ナウ編「国連グローバー勧告—福島第一原発事故後の住民がもつ健康に対する権利」の保障と課題」(2014年)合同出版、P.29&43)。

品名	セシウム137	ストロンチウム90
1 パン・パン製品	20	5
2 ジャガイモ	60	20
3 野菜(根菜, 葉菜)	40	20
4 果物	70	10
5 肉・肉製品	200	20
6 魚・魚製品	150	35
7 ミルク・乳製品	100	20
8 卵(1ヶ当り)	6	2
9 飲料水	2	2*)
10 コンデンスミルク	300	60
11 粉ミルク	500	100
12 野生イチゴ・キノコ(生)	500	50
13 野生イチゴ・キノコ(乾燥)	2500	250
14 薬草	600	200
15 その他	600	200
16 幼児食品	40	5

*) 1999年1月1日までは4 Bq/l.

図4 食品・飲料水中のセシウム-137とストロンチウム-90の許容濃度(AL-97), Bq/kg, Bq/l

支援団体紹介③（乳歯保存ネットワーク）

大切なのは予防原則です

病気の原因の90%は環境にあります。環境や食生活への配慮・改善で今以上の核物質の蓄積を防ぐこと、これが**一次予防**です。汚染の少ない食品を食べられるように、環境や食品中のストロンチウム-90の濃度を調べましょう。政府と地方自治体が調べるように、粘り強く働きかけましょう。

どの子ものびのびと育つことが大切です。精度の高い検診を受けることによって病気をはやく見つけ、子どもたちのいのちを守る。これが**二次予防**です。

私たちは、まず東海地方で、年内に乳歯の測定ができるように準備しています。乳歯一本一本に含まれるストロンチウム-90が測定できるようにするのです。そして、その経験を全国各地で利用してもらおうと考えています。

抜けた乳歯を捨てないで、保存しておきましょう

赤ちゃんの歯は、お母さんのお腹でいのちが芽

生えて5～6週間経ったころではじめ、生まれて6～8ヶ月経つと生えてきます。ストロンチウム-90の半減期は約29年なので、長い間なくなることはありません。乳歯を保存しておけば、その中にあるストロンチウム-90をいつでも測定することができます。お子さんの抜けた乳歯を捨てないで、記録カードと一緒に保存しておきましょう。

乳歯の測定結果は、子どものいのちと健康を守るために使います

日本では、子どもの歯一本一本を調べた結果はありません。私たちは、それを調べて、子ども一人ひとりの健康状態を正確に把握し、病気の予防に役立てようと考えています。測定結果は、子どものいのちと健康を守るために使います。また、内部被ばくの確認、被ばくと健康影響の分析、一般市民や国・自治体に対する提言の基礎資料とします。子どもたちの健康影響を調べるためには、一地域だけでなく全国のデータが必要です。

（「乳歯保存ネットワーク」医師 松井英介）

「乳歯保存ネットワーク」について

「乳歯保存ネットワーク」 <http://pdn311.town-web.net/>

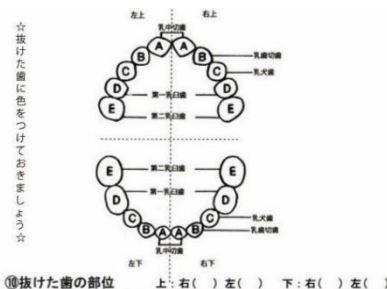
<抜けた歯の提供先>

抜けた歯は、記録カードと一緒に下記へお届けください。

★送って頂いた乳歯は測定によって形がなくなりますので、返却できません。測定結果の通知は、記録カード(15)測定結果通知の希望への記入をお願いします。預かり証を発行し、厳重に管理・保管します。



①子どもの名前	ふりがな
②性別	男 女
③生年月日	西暦()年()月()日
④出生地	〒
⑤現住所	〒
⑥保護者の名前	
⑦電話番号	
⑧メールアドレス	
⑨歯が抜けた日	西暦()年()月()日



⑪生まれた時の体重	()g
⑫乳児の時の栄養	母乳 (粉ミルク) 混合 (母乳と粉ミルク)
⑬乳児の時の飲み水	水道水 井戸水 ミネラルウォーター その他
⑭育った場所 a	a. ()～()歳
転居した場合 b, c へ (市町村まで記入)	b. ()～()歳
	c. ()～()歳
⑮測定結果の通知	()希望する ()希望しない 現在日本では歯を1本ずつ測定するところがありません。2年後をメドに測定できるよう準備中です。
⑯同意 個人の結果は公表しません。Sr-90測定による分析研究結果は、いのちと健康を守るために公表、国や行政への提言に生かします。	()同意する ()同意しない

乳歯保存ネットワーク 〒502-0017 岐阜県岐阜市長良雄総878-16 岐阜環境医学研究所内

TEL:058-296-4038 FAX:058-296-3903

支援団体紹介④（田原市社会福祉協議会）

共に暮らす

田原市では、平成 23 年 4 月 7 日に福島から避難してこられた S さん一家を初めてお迎えし、これまでに 9 世帯 17 名（宮城県から 5 世帯、福島県から 4 世帯）の方たちが被災者登録、田原市で生活をされました。このうち、宮城県石巻市、山元町、東松山市、福島県いわき市出身の 4 世帯 7 名の方たちは帰郷されています。

共に取り組む

発災直後は、新たな地での生活の不自由さを軽減できるように、行政が中心となって布団・家電機器や見舞金等、生活の基盤を整える支援。半年経過した頃から、社会福祉協議会（以下、社協）ボランティアセンター登録団体によるミニコンサート招待等、心安らげる時間を持っていただくこと、地域の中で支えたいと思っている人たちとふれあう機会を増やしてきました。

共に交流する

平成 26 年度からは、企画・主催は田原市、田原市社会福祉協議会、コープあいち、共催は愛知県被災者支援センターという協力体制で、毎年、被災者交流会を開催しています。行政が関わると『当市に在住・在勤者』など、対象を行政区で切りがちですが、私たちは『できるだけ多くの皆さんが交流できること』を目的に、被災者支援センターの力を借りて豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市…等からも田原市に集合していただいています。内容はマナーにならないよう、毎年実施する個別訪問で聞き取った要望等に寄り添いながら、「ふるさとや家族を感じられる鍋料理を囲もう」「田原特産の花や野菜を景品にビンゴゲームをやろう」「渥美半島の名所、おい



＜みんなで鍋を囲むあったか交流会＞

しいものを巡るバスツアー！」など、企画会議を何度も重ね、内容を決めていきます。当日は市役所職員も社協マンもコープも…みんなで料理や皿洗い、ビンゴの司会、バスガイド…等の役割を分担し、参加者と一緒に楽しむのが田原市交流会の基本です。

共に支える

参加者の了承を得て社協広報誌に交流会記事を掲載したところ、市民からの反響も大きく、交流会に役立ててほしいと農家直送のトマト、みかん、花等が届いたり、カンパも寄せられました。また、被災者支援をきっかけに社協ボランティアセンターに登録するグループも増えました。

共に生きる力をつなぐ

マスコミでは、『避難者』という言葉でいじめを受けた、心痛む事例が報じられていますが、田原市社協は、住みなれた地域を離れなくてはならなかった皆さんが、私たちの地域で手をつなぎ直せることを目指しています。田原市民にとっても、被災者の皆さんを身近に感じることで災害に対する関心を深め、『困ったときはお互いさま』の共に生きる力をつなぐことができると思っています。



＜フラ楽器のイプを使った練習＞

2011年3月11日2時46分に、あの大きな地震は起きました。それは突然やってきました。地面が揺れるのを初めて体験しました。私は東日本大震災ですごく大変な思いをしました。地震はすごく怖かったし、今でも原発のことは不安です。

私の夢は常磐音楽舞踊学院に入学して、フラガールになることです。震災でフラガールの皆さんも地震や津波で自分の住む家や大切な家族を失ったり、原発事故の影響で避難を余儀なくされたのに、「日本中に笑顔・元気・希望を届けます。そして人と人との絆を深めていきたい」と言うメッセージと共に全国をまわりました。私も母と離れて暮らしていてさみしかった時にフラダンスを見て勇気づけられ、笑顔になることができました。だから、今度は私がフラガールになって元気・笑顔を届けたいです。

私の憧れのフラガールのお姉さんは笑顔が素敵な前・リーダーのモアナ梨江さんです。梨江さんのフラダンスを見ると自然と笑顔になります。そして、癒されます。引退して



＜元フラガールのモアナ梨江さん＞

しまったので、一緒にステージでフラダンスをする夢は叶わなくなってしまったけど、梨江さんに負けないくらいの笑顔でフラダンスが踊れるようになりたいです。そして、震災で支えてくれた人達に恩返しがしたいです。

東日本大震災はまだ終わっていません。「街だけが復興しても、人の心が復興しないと本当の復興とは言えない」と母が言っています。復興のために大切なことは、一人ひとりの笑顔だと思います。だから私は、必ずフラガールになります。

(小学6年生 根本未結)



＜フラダンス教室でウリウリを使って練習＞

支援制度紹介（若年者就職相談窓口の紹介）

**就職でお悩みの 45 歳までの若年者を対象に、
キャリアコンサルタントなどの有資格者が相談をお受けしています。**

相談は、ご本人だけでなく、ご家族の方も相談できます。相談時間は、午後 1 時から午後 4 時まで、定員は 1 日 3 名で、相談時間は 1 人 50 分です。

例えば

- ☐ 就職活動のやり方がよくわからない。
- ☐ 履歴書の書き方がわからない。
- ☐ 面接が苦手ですどうしたらいいだろう。
- ☐ 「やりたいこと」がわからない。見つからない。

○問合せ先

愛知県 産業労働部 労政局 就業促進課
若年者雇用対策グループ

TEL : 052-954-6366

HP : <http://www.pref.aichi.jp/shugyo/tiiki/index.html>

希望する開設日の 1 週間前までに、下記申込先へ電話で予約をしてください。

窓口	設置場所（住所）	相談日	申込先
瀬戸市	産業支援センターせと （瀬戸市蔵所町 1-1 瀬戸蔵 3 階）	奇数月 第 3 金曜日	交流活力部 産業課 TEL : 0561-88-2652
豊川市	豊川市役所北庁舎 4 階 市民相談室 （豊川市諏訪 1-1）	奇数月 第 2 金曜日	産業部 商工観光課 TEL : 0533-89-2140
刈谷市	刈谷市役所内相談室 （刈谷市東陽町 1-1）	偶数月 第 2 木曜日	産業環境部 商工業振興課 TEL : 0566-62-1016
西尾市	西尾市役所 3 階 31 相談室 （西尾市寄住町下田 22）	奇数月 第 4 火曜日	産業部 商工観光課 TEL : 0563-65-2168
犬山市	犬山市役所内相談室 （犬山市大字犬山字東畑 36）	奇数月 第 2 火曜日	経済環境部 産業課 TEL : 0568-44-0340
江南市	江南市地域情報センター （江南市赤童子町大堀 99）	偶数月 第 2 火曜日	生活産業部 商工観光課 TEL : 0587-54-1111
小牧市	小牧市役所内相談室 （小牧市堀の内 3-1）	偶数月 第 2 水曜日	地域活性化営業部 商工振興課 TEL : 0568-76-1134
岩倉市	岩倉市役所内相談室 （岩倉市栄町 1-66）	奇数月 第 4 月曜日	建設部 商工農政課 TEL : 0587-38-5812
豊明市	豊明勤労会館内会議室 （豊明市新田町吉池 18-8）	奇数月 第 2 木曜日	経済建設部 産業振興課 TEL : 0562-92-8312
日進市	日進市役所 本庁舎 4 階相談室 （日進市蟹甲町池下 268 番地）	奇数月 第 4 水曜日	建設経済部 産業振興課 TEL : 0561-73-2196
清須市・海部地域 （あま市・大治町・蟹江町）	あま市役所七宝庁舎 1 階相談室 （あま市七宝町桂城之堀 1）	偶数月 第 4 月曜日	清須市役所 市民環境部 産業課 TEL : 052-400-2911（内線 3516） あま市役所 建設産業部 産業振興課 TEL : 052-441-7114 大治町役場 建設部 産業環境課 TEL : 052-444-2711 蟹江町役場 政策推進室 ふるさと振興課 TEL : 0567-95-1111

スタッフ紹介 ～ 佐原恵津子 ～

支援センターのスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第 21 回はスタッフの佐原恵津子（ボラみみより情報局事務局スタッフ）です。

普段はボラみみより情報局で、ボランティア情報誌『ボラみみ』の編集やボランティアのマッチングイベントの企画・運営などを担当しています。ボラみみの職員となって初めて担当した仕事が、東日本大震災の災害ボランティア活動報告書の編集、災害ボランティアセンターの啓発パンフレットの作成でした。そして、2015 年から『あおぞら』の原稿校正のお手伝いもさせていただいています。単に誤字・脱字をチェックするだけではなく、分かりやすい表現になっているか、表記は統一されているかなどに気をつけて作業しています。こうして間接的にでも皆さまとつながる機会に恵まれたことに感謝し、少しでもお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いします。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★このごろは人のお話を聞くのがおもしろい。人はなんていろいろな考え方、感じ方、生き方をするものだろうと。それも自分と違う方がおもしろい。というのは、年を取ったおかげ？ (K.T)
- ★「人生フルーツ」という映画を見ました。なんとほのぼのとした映画だろう。東海テレビが作成のノンフィクション映画です。お勧めです。(H.T)
- ★「防災危機管理者」の資格を取りました。「防災士」に続き、防災について勉強する機会となり良かったです。(J.I)
- ★「四方の景色を春と眺めて梅に鶯ホーホケキョ」 福島のお手玉遊び歌です♪ (T.N)
- ★まもなく 6 年。みなさま、お元気ですか？ 愛知に来て良かったことお聞かせください。編集会議でお待ちしております。(E.K)
- ★3.11 この日から全てが始まりました。忘れないこと。忘れられないこと。忘れないこと。(A.I)
- ★あま市の小中学生の皆さんからの絵ハガキが届きました。私は絵心も文才もないので、毎年お返事が出来ずにいましたが、今年は既存の絵ハガキで気に入ったものに一言書いて出そうかなと思っています。感謝の思いが届きますように。(Y.Y)
- ★旧暦の元旦に京都八坂神社へ御参りに行きました。娘の引いた恋おみくじは 1 番の大吉で 素敵な歌が詠まれていました。ワクワクの母です。(Y.S)

- 3 月のイベントの詳細は定期便に同封のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1 階
愛知県被災者支援センター
TEL : 052-954-6722
FAX : 052-954-6993
Mail : aozora@aichi-shien.net